

ときわの島 いぜな



伊是名村

議会だより

No.
173

発行 2022年3月

議長「年頭のあいさつ」

第4回定例会議決結果一覧

一般質問ダイジェスト

議会の動き

村議会だより奨励賞受賞・議員自治功労者表彰

編集後記

2
3
4~7
8
8
8

旬の花



さとうきびの花

イルミネーション
IN
臨海ふれあい公園





年頭のあいさつ

伊是名村議会議長 宮城 安志

令和4年の輝かしい新春を迎え、村民の皆様、郷友の皆様、新年のごあいさつを申し上げます。

皆様には、日頃から村政をはじめ、村議会に対する温かいご理解と、ご協力を賜り議会を代表して厚くお礼申し上げます。お陰をもちまして、昨年も村政発展への基盤を着実に図って参りました。

令和4年の新春を迎え本村の一層の飛躍を期して精神の気がみなぎるのを覚えます。

昨年は新型コロナウイルス感染症対策による、緊急事態宣言が国より発出され不要不急の外出自粛・渡航自粛・各種イベント等の開催制約や中止を余儀なくされ県民及び村民には大変な一年ではなかったかと思います。

また、8月に発生した、小笠原諸島「福德岡ノ場」の海底火山噴火による大量の軽石が10月以降、沖縄県内各地の海岸に大量に漂着し、環境被害、漁業、観光業にも大きな被害をもたらしました。本村に於いても、各漁港、港湾、海岸に大量の軽石が漂着し、漁船が漁に出航できない事態になり多大なる被害を受けました。

更には、沖縄本島と本村を結ぶフェリーいぜな尚円の運行にも深刻な影響を与え、村民生活、本村を観光で訪れるたくさんの方々にご迷惑をおかけしました。

このような中、議会としても執行部同様、様々な事業を展開し、地域経済の発展に尽力し、より豊かで活力ある住みよい村づくりを目指して今後とも創意工夫を重ね、村民の皆様のご要望が村政に反映されるよう努力してまいり所存でございます。

輝かしい新年にあたり、村民の皆様、郷友の皆様のご健勝とご多幸を祈念し今後とも村政並びに村議会へのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

令和4年 元旦



令和3年 第4回伊是名村議会定例会議決結果一覧

令和3年第4回伊是名村議会定例会は、12月14日～15日までの2日間で開催された。本定例会に提案された議案は12件、うち同意1件、発議1件です。一般質問には2名の議員が登壇し村政について質問した。議決結果は次の通りです。

議案番号	件 名	議案等の概要	議決の結果
議案第53号	令和3年度伊是名村一般会計補正予算(第5号)	歳入歳出それぞれ290,427千円を追加し、総額それぞれ3,196,979千円とする	原案可決
議案第54号	令和3年度伊是名村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ27,193千円を追加し、総額をそれぞれ274,356千円とする	原案可決
議案第55号	令和3年度伊是名村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ977千円を減額し、総額をそれぞれ12,803千円とする	原案可決
議案第56号	令和3年度伊是名村簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ215千円を追加し、総額それぞれ242,619千円とする	原案可決
議案第57号	令和3年度伊是名村港湾整備事業特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ7,290千円を追加し、総額をそれぞれ16,379千円とする	原案可決
議案第58号	令和3年度伊是名村船舶運航事業特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出の補正は無く、歳出予算の変更に伴う補正であり、総額をそれぞれ392,456千円とする	原案可決
議案第59号	団体営土地改良事業の承認について	農地耕作条件改善事業(イシジウムイ原地区)の新規事業計画	原案可決
議案第60号	伊是名製糖工場季節工員宿舍の設置及び管理に関する条例の制定	伊是名製糖工場季節工員宿舍の建築に伴い、その設置及び管理に關しての条例の制定	原案可決
議案第61号	伊是名村議会の議決すべき事件を定める条例の制定	伊是名村総合計画(基本構想)の策定、変更に関する事を議決すべき事件について定める条例の制定	原案可決
議案第62号	伊是名村過疎地域持続的発展計画(令和3年度～令和7年度)の策定について	伊是名村過疎地域持続的発展計画(令和3年度～令和7年度)の策定	原案可決
同意第2号	教育委員会委員の任命について	末吉 高子 氏	同 意
発議第7号	離島振興法の改正・延長を求める意見書	現行の離島振興法が令和4年度末で失効するため、抜本改正の上、恒久法化も視野に入れて延長を求める意見書の提出	原案可決

イルミネーション設置

令和3年12月11日、村議会クラブ及び村職員クラブ合同により、臨海ふれあい公園にイルミネーション設置を行いました。コロナ禍で沈んでいる島の子供たちが元気になってくれるよう願いを込めた。イルミネーションは、令和3年12月11日～令和4年2月5日まで点灯された。この期間、夜にはたくさんの家族がコロナ禍の中、感染拡大防止を万全に、イキなプレゼントに訪れ、楽しんでいました。

御協力していただいた他関係者の皆様ありがとうございました。





Q 海底火山噴火の 漂着軽石の対応・支援



みやぎ よしひで
宮城 義秀 議員

Q 宮城義秀議員

「海底火山噴火により噴出した漂流漂着軽石に対する対応、および漁業組合員への支援」について。

今年8月に小笠原諸島の海底火山で発生した大噴火により大量の軽石が噴出され、沖縄本島および周辺離島に次々と漂着しています。本村でも10月23日ごろに内花港での確認以降に仲田港、各漁港や海岸に漂着しており、モズク養殖およびアオサ養殖に甚大な影響が出始めています。又、本村の唯一の定期船である「フェリーいぜな尚円」が軽石の大量漂着により運天港に入港できず島に引き返した他、毎日の運航が運天港の日々の漂着軽石の影響次第で決まるということで、村民生活にも甚大な影響が出ています。そこで次について伺います。

- ① 本村フェリーが運天港に入港できず全便欠航する場合、本部港に緊急接岸する「フェリーいへやⅢ」を本村仲田港に寄港することができないか。
- ② さまざまな災害等によ

り運天港に入港できない場合の補完港として、本部港でのフェリーベースの整備を県に要望すべきではないか。

- ③ 毎日のフェリーの運航が出航1時間前まで分らないという災害に対し、防災放送やインターネットの村ホームページ案内だけでなく、民放放送局のデジタル情報コーナーの活用も必要ではないか。

④ 軽石漂着災害により、日帰りでの病氣治療等および冠婚葬祭等で出掛けた場合の船便の欠航等により生じたホテル代や交通費等について、村が助成できないか。

- ⑤ 軽石の吸い込みにより漁船のエンジントラブルが発生し、対策として海水こし器が必要。災害に苦しむ漁船保有者へのこし器購入補助はできないか。以上について村長の見解を伺います。

A

前田政義村長

1点目の質問については、伊平屋村と相談をしながら検討していきます。

現在運天港は沖縄県によ

る軽石漂着の対策を行っている、軽石の漂着があった場合、できる限り伊平屋ベースか伊是名ベースのどちらかに接岸できるように対応を取ってもらっています。

- 2点目の質問は去る12月1日、沖縄県知事宛て伊平屋村・伊是名村・伊江村・本部町の4町村合同で、軽石対策について要請を行いました。その中で運天港および本部港内、伊江村航路ベースに接岸できない場合に備え、本部港を活用した船尾岸等、所要の整備を早急に講ずることとして要請を行っています。

3点目の質問について。9月定例会後にも利用方法や手続き等の情報収集を再度行い、新年度に向けて調整を進めています。しかし、軽石の状況でフェリーいぜな尚円の運航が日々変更され、村民の皆様やご利用される方々にご迷惑をおかけしています。民放放送局の「デジタル情報コーナー」での運航状況の運用を、年内にできるように進めていきます。

4点目については今回の軽



運天港の船着き場の状況

石の影響による欠航時に、事前に連絡・渡航してもらい、透析を行った事例もありますので、引き続き軽石の影響を注視しながら、病氣療養等については配慮していきます。なお、冠婚葬祭等における助成については、今後の課題にしたいと考えています。

5点目の質問の軽石災害の海水こし器について漁業協同組合へ照会したところ、現時点での軽石被害の報告はなく、海水こし器については17名の漁家が新たに取り付けて対応したと伺っています。村でも海水こし器について調べたところ、金額にして3万円程度で個別除去で対応可能な範囲と推察されます。今後は、



軽石視察の様子

個別事案ごとにどういった支援ができるか検討していきます。

Q 宮城義秀議員

災害協定は軽石のことだけではなく、災害時に置いて伊是名と伊平屋は「いざこの時にはお互いにこう助けるんだ」という道筋みたいなも

のを作ると安心した対応ができると思います。両村にとって予測のつかない不測の事態にどうするかということを、担当課長はどのようにお考えでしょうか。

A 神田宗秀商工観光課長

災害時において伊是名、伊平屋、どちらかが稼働す

る場合にはそういった調整も必要だと感じています。

今回、軽石に関して伊是名の方に寄れないかという議員のお話ですが、両村、そして総合事務局と調整していきます。

Q 宮城義秀議員

3点目の民放放送局の「デジタル情報コーナー」の年内運用をどのように目指すのか、伺います。

A 諸見直也総務課長

今後村から申し込みをして運用しながら、どういった情報が提供できるかを考えていきます。

Q 宮城義秀議員

4点目の軽石漂着災害により日帰り病氣治療等、これまでの村の条例・規則等で災害時も妊婦さん、特定疾病の方々をケアをしているというところですが、特定疾病と認定されていない方々の治療等について、福祉課長のお考えを伺います。

A 諸見美奈子住民福祉課長

その他の病氣等についての助成事業について、ということでお答えします。どういった病氣なのかにもよりますが、助成できるのかできないかを検討していきたいと思っています。

Q 宮城義秀議員

私が個々に説明したのは、日帰り等での病氣療養等で軽石等により急な船便の変更とか、そういった時にも

助成はできないかということ、条例や規則にある妊婦等、そして特定疾病についてはカバーされているとお話を伺いました。ただ検査で出たけれども急に帰れなくなつたなど、そういった時に特定疾病などに認定されていない場合はどうなんですか、と尋ねました。それについてまだ協議検討とすることになっているのでしょうか。

A 諸見直也総務課長

急な欠航になった場合に関しては、調整するということです。協議はしていますが答

えが出ませんでした。ケースバイケースでございますので、今後検討していきたいという考えです。

Q 宮城義秀議員

5点目の漁船のエンジントラブル等についての海水こし器の支援を今後検討するということですが、農林水産課長はどのようにお考えでしょうか。

A 前田秀光農林水産課長

支援の予算は村単独費用になると想定されますが、順次検討していきたいと思っています。

他方、補助制度もあります。伊是名村漁業協同組合の広域浜プランという団体に加盟していないため、補助の要件から外れてしまっている状態になります。漁組さんに確認したところ、参加する意思はないということでした。

Q 宮城義秀議員

村をあげていろんな方々を支援していただきたいです。



Q1 消防・防災緊急体制について

・地域防災計画等実施進捗状況

Q2 次期村長選挙について

・村政運営の総括と課題・任期満了に伴う村長の進退伺い



伊禮 正徳 議員



避難訓練の様子

Q1

伊禮正徳議員

伊是名村地域防災計画の一部進捗状況について

(1)今年度実施された地震津波避難訓練後のアンケートや意見検証結果を伺います。
(2)各計画には村福祉施設と連携し福祉避難所の設置に取り組むとなっているが指定協定への進捗を伺います。
(3)要援護者や高齢者に防災リュックを推進し補助制度を検討支援できないか伺います。

A

前田政義村長

一点目について、アンケート集計結果は津波到達最大水位や避難場所の表示の常時設置してほしい、避難訓練の継続、高齢者の移動困難の方など解除対策が主であり、村の避難訓練の課題と認識しています。課題の取り組みに検討し整理して次回からの避難訓練に活かしていきます。

二点目について、災害基本法による指定基準に合う耐震耐火鉄筋構造、バリアフリー化された施設、物資や機材設備、介助員等の配置など満たされていることが条件施設を指定しなければならない。村



福祉避難所指定協定(前田村長、伊禮理事長)

Q

伊禮正徳議員

一点目について、昨年に比べ充実した多くの村民が防災意識に努められたかどうか不安なところもあり、昨年より今回は一般村民の参加も少ない。特に高齢者や歩行できない方々、毎回同じ方の参加ではとの声など。村民の意見を聞き次回からは改善要望を行い訓練に強化してほしいと要望します。

二点目の福祉避難所の指定について、福祉計画等に基づき、指定締結されたことに評価します。村長から避難所を

支援して連携をとっていくとありました。細々な明細とこれからの協議を伺います。

A

諸見美奈子住民福祉課長

受入人数はそれぞれ5名で計10名できることとなっています。機材等は20項目中、7項目クリアしてない状況であり、村と施設と協議をして整備していこうと考えています。

Q

伊禮正徳議員

三点目の防災リュックは補助でやると高額であり、各個人で備えるよう啓蒙していくと村長答弁ですが、補助制度を検討できないかと質問しましたが、検討も厳しいというのでしょうか。

A

諸見直也総務課長

高齢者400名を超えて、すべての方に助成することとは厳しいということですが、防災計画にもそのように謳われています。



Q 伊禮正徳議員
全員にと勘違いしているような感じがします。高齢者は服薬の方々も多く、最低必要備品等は個人持ちだしでできるようリユックを各家庭見やすい場所にと考えています。今回制度ということとを提案していますが、私は400名余りの全員に補助して下さいと言っています。

制度を整え規則等に該当する方々の高齢者等にグッズではなくリユックと伝えていきます。国土強靱化地域計画策定において検討してほしいと思います。

Q2 伊禮正徳議員
前田村長就任から20年

目となり、就任時は厳しい財政の立て直しから、数々の施策を打ち出し、手腕を発揮され今日の村発展と高く評価します。五期目の任期も一年きりでした。次期村長選挙について以下伺います。

(1)村政運営の総括と課題を伺います。
(2)令和四年九月の任期満了に伴う村長選挙に向けて村長の

進退を伺います。

A 前田政義村長
一点目について、平成

14年に村長就任当時、約50億円の地方債残高があり、実質公債比率が健全化判断基準の25%を超え、最悪の状況下、財政破綻寸前となっていました。マスコミからは第二の夕張と酷評され村民、郷友諸兄にも心配をかけ厳しい村長就任でありました。財政再建を重要課題と取り組み、村民、議会、職員にご理解と協力をお願いしました。今では実質公債比率を6・7%まで改善できました。

今後の小学校校舎建設、役場庁舎建築等の大型工事を考慮しても実質公債比率を10%以内に抑え緩やかな財政運営ができると考えています。

行政運営は就任当初から掲げた主要施策は、実質事業も含め大方実現しておりますが、伊平屋伊是名架橋整備、屋ノ下原アイランド事業、永代供養施設、六次産業の具現化が課題となっています。また勢理客漁港補完バース整備は村民総決起大会を開催し取り

組みしたところ、整備が順調に進められ、令和6年あたり完了する予定となっております。また、伊是名漁港海岸高潮対策事業は、令和5年度に完成する予定であります。引き続いて明地原公園海岸の高潮対策で人工リーフの整備、並びに養浜整備が継続事業として採択され実現できれば、本村観光産業の振興発展に大きく貢献できるものと期待しています。

二点目の来年9月の任期満了

了に伴う私の進退について。平成14年の就任以来、財政再建を重要課題として取り組み、また、尚円王生誕600年記念事業として、フェリーいぜな尚円を建造、年次ごとに掲げた農業、漁業、商工業、教育、文化、福祉事業等に関する公約は大方実現しており、村民の皆様にも多少なりとも恩返しできたものと自負しております。

したがって、来年9月20日の任期満了をもって、私

の政治活動を終結したいと考えております。村民の皆様には5期にわたってご支援いただき、大過なく村政運営にあたることができました。皆様のご厚情に感謝申し上げます。

Q 伊禮正徳議員
大変詳しく村政運営と

課題を伺いました。

そして、次期村長選挙には今回、勇退の意向の表明と理解いたします。まだ村長には9カ月の任期があります。昨年から新型コロナウイルス感染症拡大防止は続き油断できない行政の立場となっております。また思わぬ軽石の漂着問題と、村民は大変な打撃をうけ日々厳しい暮らしが続いています。

新年度予算編成にも大きく影響するのではと大変危惧しているところです。村長には任期満了までの期間は私達、議員はこれまで同様、気を緩めることなく行政のチェック役として、村発展をめざして追求も続きます。厳しい時代の局面に奮闘されますことをお願い申し上げます。



小学校校舎建設状況

議会の動き

令和3年12月～令和4年2月

- 12月 9日(木)・議会運営委員会
 12日(日)・学習発表会(議長) 伊是名小学校
 14日(火)・第4回定例会(～15日(水))
 1月 1日(土)・令和4年伊是名村「一足早い成人式」
 産業支援センター
 6日(木)・令和4年消防団出初め式
 産業支援センター
 18日(火)・令和4年モズク操業祈願祭(議長)
 モズク最終選別施設
 26日(水)・伊是名村文化財防火訓練(議長)
 国指定重要文化財 銘苅家住宅
 2月 8日(火)・全員協議会 伊是名村役場

- 9日(水)・全国離島振興市町村議会議長会
 第2回総会(議長)WEB会議 役場
 15日(火)・広報調査特別委員会
 17日(木)・町村議会議長会第51回定期総会(議
 長・局長) 自治会館
 18日(金)・沖縄県離島振興市町村議会議長会
 第13回定期総会(議長・局長)
 自治会館
 24日(木)・令和3年度北部振興会第1回総会
 (議長) 北部会館
 25日(金)・町村議会議員・事務局職員研修会
 読谷村文化センター

議会だよりが奨励賞受賞

令和3年度・第19回県
 町村議会広報コンクールに
 おいて「いぜな村議会だ
 より170号」が奨励賞に選
 ばれた。

議会だよりは、いかに村
 民に読みやすい内容にす
 べきか、また斬新な特集な
 ども加え思考編集に取り
 組んできました。編集方
 針や技術、写真の企画な
 どが厳正に審査された。
 その結果、今回14町村
 の応募のなかの受賞とな
 りました。

引き続き優秀賞を目指し、「議会だより」編集に努
 めていきますので、どうぞ村民の皆様のご指導をよろ
 しくお願い致します。



広報調査特別委員会

議員自治功労者表彰

町村議会議員
 として11年以
 上在職し、議会
 活動等を通じ地
 方自治の進展の
 ために大きな役
 割を果たしたと
 いうことで、全
 国町村議会議長
 会から東江克伸
 議員が表彰され、令和4年2月17日の沖
 縄県町村議会議長会定期総会において伝
 達されました。誠にありがとうございます。
 今後のますますのご活躍に期待がかけ
 られます。



スマホで 会議録

下記の QR コードを読み取ってね♪



スマホで 議会だより

下記の QR コードを読み取ってね♪



わたしの好きな 伊是名島

写真を大募集中!

- ・島の貴重な写真・微笑ましい写真
- ・残したい写真・地域活動や団体など

お近くの議員、または議会事務局へ!

☎0980-45-2003

伊是名村議会事務局

編集
後記

▶唐ぬ世から大和ぬ世“大和ぬ世からアメリカ世”と歌う歌詞(時代の流れ)がある。民謡が好きな私もたまに歌う曲である。今年は本土復帰50年の節目の年。私達39年同期は小学2年生でした。担任の先生から復帰記念メダルを首に掛けられた事を記憶に残っています。その後、通貨がドルから円へと切り替わりました。▶戦後から本土復帰の年まで27年間先人の方々、大先輩の方々のたゆまぬ努力のお陰で今日の沖縄があり大変感謝の念に堪えません。▶これから先の未来も先人の方々が築き上げた【みるく世ウチナー】であり続けます様願うとともに、コロナ禍が1日も早く収束し、普通の社会生活に戻る事を願うばかりです。 広報調査特別委員 委員長 仲田 正務

※今回のきらりいぜなっ子コーナーは、新型コロナウイルスの関係でお休みします。